



神奈川支部報

神奈川支部報 第 16 号

発行日：2020 年 10 月 1 日

発行者：込田伸夫

発行所：公益社団法人日本山岳会神奈川支部

横浜市青葉区若草台 2-58 込田方

丹沢おぼえがき (8)

低山派の台頭一霧の旅会が活躍

砂田 定夫

明治から大正中期までの丹沢における近代登山は、日本山岳会の創立メンバーなどを中心としたいわゆるエリート登山家によって行われたが、大正8年ごろからは、霧の旅会の会員による活躍が目立つようになる。同会は松井幹雄が主宰し、1919（大正8）年に創立された。当時は案内人を伴うハイソサエティ感と高山志向の登山界にあって、低山志向と登山の大衆化に影響を与えた。丹沢における主な記録では、霧の旅会創立の1919年、久野政雄が無案内、単独で主脈を縦走した。松井はその山行について、「当時は記録も不完全であり、地理も不明であったにもかかわらず決行され、ことに無案内主義で通過されたのは驚嘆に値する」と書いている。同年11月、第1回霧の旅会遠足として、松本善治の発起により、松井らを含む5人が長野を起点に焼山から主脈を縦走している。塔ノ岳から大倉尾根を下る予定だったが、表尾根に入り込んでしまったようで、1210m付近から南の尾根を下って水無川上流の合流点に下ったと述べているので、おそらく政次郎尾根を下って戸沢出合に出たものと思われる。秦野の軽便鉄道の停車場へ着いたのは18時、日照時間が短い季節なので1日で踏破できたことは特筆に値するだろう。この山行について、松本が日本山岳会の小集会で講演した。代表の松井は、「静かな池の面に小石を投げ入れたように、波動を伝え、同山塊に赴く人も多くなった」とその影響について述べている。

1921（大正10）年7月、松井らが玄倉川の諸土平に一泊し、箒杉沢～小金沢右岸尾根～塔ノ岳～丹沢山～蛭ヶ岳～姫次と踏破し、青根へ下った。また、武田久吉は道志山塊を越え、

姫次から蛭ヶ岳へ登って早戸川大滝側へ下り、鳥屋へ出ている。

1923（大正12）年、河田楨らは、与瀬駅（現在の相模湖駅）から石老山を経て青野原に入り一泊、翌日焼山～蛭ヶ岳～丹沢山～塔ノ岳とたどり、大倉経由秦野へ下っている。河田の著書『一日二日 山の旅』は当時ベストセラーとなり、東京近郊の山歩き愛好者にとって案内書を兼ねたバイブルとなり、丹沢の知名度アップにも貢献した。楨有恒らがアイガー東山稜を初登攀したのが大正10年、帰国して近代的な登山用具や技術とともに、雪や岩を志向する

アルピニズムを日本にもたらした。その対極として、霧の旅会は低山趣味の潮流を育み、首都圏では奥多摩や大菩薩などと共に丹沢がその活動の舞台となったのである。



写真：松井幹雄（1895～1933）

山行報告

かながわ山岳誌

Lコース 仏塚山

令和2年9月19日

コース概略 JR 逗子駅（バス）～湘南国際村間門沢調整池～仏塚山～湘南国際村センター前（バス）～葉山大道～大峰山～仙元山～風見橋（バス）～JR 逗子駅

仏塚山はゴルフ場を挟んで大楠山の北西に位置する低山である。研究所の裏手の遊歩道を進み、廃道となったヤブの階段を登ると頂上に

出る。景色は抜群で東京湾・相模湾の両方が見渡せる。古地図では、廃墟となった展望台跡地を宝金山という。バスで次の大峰山に向かう。住宅地を抜けぐんぐん登ると大峰山。逗子湾の眺望が良い。昼食後仙元山を目指して葉山教会へ登り返すも、ハチ大量発生中の看板に通行止めを喰らう。ジメジメと暑い中、せっかく登るが引き返して国道に進み、別ルートで仙元山へ登る。本日一番の暑さで頂上に着いてぐったりしてしまう。コロナ禍が落ち着き、久しぶりの山行を楽しんだ。

<参加者>森武昭、富岡一郎、稲垣哲郎、高井延幸、高井紀栄、石村日満子、関口由美子、藤川智恵子、鎌田典子、田島剛



↑ 仏塚山山頂

《会員寄稿》

『忘れられない北岳山行』

葉上徹郎 (No16469)

昭和 47 年秋、4 人の山仲間と北岳バットレスに向かった。2 泊分の山道具をポロ車に詰め込み、未舗装穴だらけの林道を広河原へ。大樺沢を二俣上まで登り幕営。翌日は快晴の中、4 尾根登攀開始。群青色の空、白い岩、圧倒的な高度感、快適な登攀が続く。マッチ箱のコルを過ぎるとセカンドの K 君が「確保を頼む」とのこと。覗いてみると岩壁から便座の様に張り出したハイ松の枝にちょこんと座って用をたすという離れ業。ルート混雑のため頂上に着い

たのは夕刻だったが、ウンよくブロッケンを拝むことができた。天場の夜は、学生生活最後の山行だったこともあり楽しく思い出深い時間だったが、その 1 年半後、この山行でザイルを組んだ S 君が積雪期の一ノ倉滝沢第 3 スラブで帰らぬ人となった。別の意味でも忘れられない山行である。



↑ 中白根から見る北岳

『思い出に残る山』

関口由美子 (No 16189)



↑ 雲取山山頂(注:写真と文章は無関係です)

子供の頃からおてんば娘だった私、小学生の遠足でも山に登りましたが、それほど感動することもなく山との縁は過ぎ去りました。中学卒業記念に友人と登った東京都の「雲取山」この山が一番の思い出です。

登山に関しては何の知識もないど素人、スノーカーにヤッケ、こんな出で立ちで、無知ですね。幸いにも最高の秋晴れ!! 避難小屋泊り、満天の星空に吸い込まれそう。翌朝は寒さで目が覚め、小屋の外はうっすら雪化粧で感激!! 富士山も雪の帽子、下山では見渡す限り錦模様が迫る。今でも脛に焼き付いています。その後、登山のレクチャーを受け、安全登山を心掛け、どっぷりと登山にはまり続けています。

『利尻富士スキー登山』

高井紀栄 (No13097)

2013年春、馴染みのニセコの栄作ガイドにより利尻山スキーが計画された。メンバー：ガイド3名(チーフ：利尻を知り尽くしている山岳ガイド俊哉さん、サブ：栄作さん、テール：ニセコのサブガイドS君)、お客は3名(スキーの名手50代のNさん、若いボーダーH君、私)。5月12日天気は曇り、風なし。スノーモービルで森林限界(500m)まで行き出発 8:30。俊哉ガイドの絶妙なコース取りで夏道合流点(1250m)～沓形鴛泊合流地点(1560m)まで13:30。スキーをデポしアイゼン、ピッケルで登る。山頂着(1721m)14:40。デポ地点へ戻り滑降開始 15:45、登山口(200m)帰着 17:15。視界、雪の状態は良好。私たち6名だけで山を独占した一日だった。そして72歳の私にとり3名のガイドに見守られた贅沢なスキー山行となった!!



↑利尻岳スキー山行

南アルプス深南部 (丸盆岳・黒法師岳)

田島剛 (No13835)

2018年6月、赤石岳避難小屋の榎田さん・智恵子さんらに深南部を案内してもらった。寸又峡温泉から千頭ダムまで4時間歩行。取付きから崩落したトラバース道、急傾斜のきつい尾根、胸まである笹ヤブに前進まならない。踏み跡は見えず藪漕ぎの登りにへトヘト。

やっと丸盆岳に到着しテント泊。爆睡で記憶がない。翌朝は丸盆岳から見るカモンカ平の草原がとても美しい。が、黒法師岳の手前の急登とヤブに難儀。前黒法師岳への長い尾根を延々と歩き、日暮れにやっと寸又峡に到着した。とにかく忍耐の深南部だったが、榎田さんらには疲れが見えない。さすがに赤石岳で鍛えた強靭さに白旗である。



↑深南部バラ谷の頭にて

役員会報告

6月役員会

日時：令和2年6月18日(木) 19:00~19:55

場所：神奈川工科大学横浜事務所

出席者：込田支部長、大槻副支部長、永井事務

局長、森、田島、長島、柴山、廣岡、

落合、葉上

委任状による出席：早川、植木、青木、

渡辺、田中

監事：砂田

[報告事項]

- (1) 会員の異動：永井より、下記の4名が退会した旨の報告があった。
12387 成瀬 昌基 (物故)
4983 織田澤 美知子
12066 森川 茂樹
12067 森川 葉子
- (2) 全国支部懇談会：10/3・10/4 宮崎支部
主管で開催予定
当支部からの参加申し込みは、東山一
勇気会員ご夫妻の2名。
最終的に実施するか否かは宮崎支部
にて7月末に判断する。

[審議事項]

- (1) 年間計画：
・今年の前半に予定して実施できなかった行事については、9月以降に可能な限り実施する方向で検討する。
・8月に予定している北アルプスの山行に関しては、実施可能かさらに検討する(大槻担当)。
- (2) 山行計画：
・かながわ山岳誌プロジェクトでは、9/5にHコースで大室山、9/12にLコースで葉山の仏塚山の山行を計画している。7月役員会で最終決定する。
- (3) 南関東3支部懇親山行：10/31に実施する方向で準備を進める(永井担当)。
- (4) その他：
・かながわ山岳誌プロジェクトの報告書の編集作業に着手するために、プロジェクト内に編集チームを設置することにした。担当者はプロジェクト内で公募する。
・今年の6月に予定していたアメリカオレゴン州でのスキー・ハイキングの行事は先方から来年に実施したい旨のメッセージが寄せられた。今後、状況をみて判断することにした。

7月役員会

日時：令和2年7月16日(木) 19:00～20:00

場所：神奈川工科大学横浜事務所

出席者：込田支部長、大槻副支部長、永井事務局長、森、田島、落合、葉上
委任状による出席：早川、植木、青木、長島、廣岡、渡辺、田中、柴山
監事：砂田

[報告事項]

- (3) 会員の異動：永井より、下記の1名が退会した旨の報告があった。
13677 日出平 洋太郎

[審議事項]

- (5) 年間計画
・全国支部懇談会：10/3・10/4 宮崎支部主管で開催予定であったが社会状況を考慮して中止となった。
・8月に予定していた北アルプスの山行は中止とした。
- (6) 山行計画
・かながわ山岳誌プロジェクトでは、9/5にHコースで大室山、9/12にLコースで葉山の仏塚山の山行を計画している。ただし、実際に実施できるか否かはコロナ感染の状況を踏まえて直前に決める。実施する場合には、緊急連絡先をメールなどで依頼することにした。
- (7) 南関東3支部懇親山行
・10/31に実施する方向で準備を進めていたが、社会状況を考慮して中止とし、来年の実施を目指すこととし、東京多摩支部と埼玉支部に伝えることにした。
- (8) その他：
・森より、かながわ山岳誌プロジェクトの報告書の基本方針が説明された。
A5判横書き2段組の全カラーとする。

9月役員会

日時：令和2年9月17日(木) 19:00～20:15

場所：神奈川工科大学横浜事務所

出席者：込田支部長、早川副支部長、永井事務局長、森、落合、葉上
委任状による出席：大槻、田島、植木、青木、長島、渡辺、田中、柴山、廣

岡
監事：砂田

[報告事項]

- (1) 会員の異動：永井より、下記の3名が準会員として入会した旨の報告があった。
 - ・A0267 石川 千嘉
 - ・A0343 鶴田 千恵
 - ・A0344 鶴田 愛美
- (2) 連絡・案内
 - ・2020年度自然保護全国集会は関西支部主管で、10/24・10/25に奈良県吉野山で開催されることになった。参加希望者は今月末までに直接本部担当者へ。
 - ・今年度の支部交付金が確定した。当支部は、交付金25万円、新入会員獲得報奨金8千円で計25.8万円となった。
 - ・本部山の日事業委員会から、会報への連載企画として、地域発「山の日」レポートの寄稿依頼が各支部にあった旨の報告があった。
- (3) 山行報告
 - ・永井より、9/5に山岳誌プロジェクトHコースとして実施した西丹沢ビジターセンター～用木沢出合～犬越路～三角点(大杉丸)～大室山西ノ肩～大室山を往復した山行の報告があった。当初の予定では帰路は加入道山・白石峠経由を予定していたが天候などを考慮して往路と同じコースを下山した。参加者は4名。
 - ・9/12に山岳誌プロジェクトLコースとして実施予定であった葉山仏塚山の山行は雨天のため中止とした。9/19に改めて実施する予定。

[審議事項]

- (9) 年間計画
 - ・プロジェクトの山行は、コロナの

感染拡大などの影響で年度当初の計画をかなり変更することになった。

(10) 山行計画

- ・9/12に中止した葉山仏塚山の山行を9/19に実施することを計画している。参加希望者10名。留守本部は込田・葉上が担当。
- ・10/10に山岳誌プロジェクトLコースとして、藤野駅＝葛原BS～天神峠～高倉山～天神峠～金剛山～一本松山～京塚山～弁天橋～藤野駅の山行を実施予定。留守本部は込田。もう1名は今後依頼することにした。
- ・10/24に山岳誌プロジェクトHコースとして、厚木バスセンター＝上三増～三増峠～志田峠～雨乞山～197.2m三角点～根小屋登山口～城山～津久井湖観光センター＝橋本駅の山行を実施予定。留守本部は次回決める。

今後の予定
役員会

- 10月15日(木) 19時～
- 11月18日(木) 19時～
- 12月16日(木) 19時～

於：神奈川工科大学横浜事務所

山行計画

6 ページかながわ山岳誌下半期予定参照

支部会員動静

入会(準会員)

- A0267 石川 千嘉
- A0343 鶴田 千恵
- A0344 鶴田 愛美

退会

- 13677 日出平 洋太郎

かながわ山岳誌プロジェクト Lコース年度計画 (2020年度下半期)

かながわ山岳誌プロジェクトの山行はコロナ禍にあつて、2020年3月から中止にしていたが、感染防止に努めることを前提として9月から再開いたしました。このような事情で、2020年4月発行の支部報第14号9頁に記載しました年度当初計画は見直しが必要となりました。現時点での下期の計画は以下の通りです。

月日	コース(○印は、踏査ポイントでないが、追加した方がよいと思われるポイント)	レベル	所要時間	集合場所	集合時間
10/10	藤野駅～日連大橋～秋川橋～高倉山(205)～天神峠○～金剛山○～一本松山(20)～京塚山○～弁天橋～藤野駅	1.5	4:30	藤野駅	9:40
11/14	山北駅～浅間山(121)～丸山(243)～山北駅＝谷峨駅～城山(107)～谷峨駅	2	5:00	山北駅	9:00
12/12	鎌倉駅＝杉本観音～衣張山(63)～披露山(212)～逗子マリナーナ＝逗子駅	1.5	4:00	鎌倉駅	9:30: 予定
1/9	向ヶ丘遊園駅～升形山(237)～散策コース一周～日本民家園～向ヶ丘遊園駅＝町田駅＝長津田駅＝すずかけ台駅～飯綱神社入口～高尾山(134)～すずかけ台駅＝横浜駅	1	4:00	向ヶ丘遊園駅	10:00
2/13	JR 早川駅～石橋山(16)～石垣山(12)～入生田駅	1.5	4:00	早川駅	9:35
3/13	本厚木駅＝半原～あいかわ公園～南山(253)～権現平△～鳥井原園地～鳥屋～越路峠～登山道入口～松茸山(239)～早戸川橋～宮ヶ瀬BS＝本厚木駅 前半のみのエスケープあり 鳥井園地発橋本行きバス 12:00 13:00	2	7:00	本厚木駅	7:00

(注) この計画は2020年9月時点での案であり、事情により変更することがあります。参加申し込みの際には必ず確認してください。

本計画の山行に関する問い合わせ及び申し込みは、森(kng@jac.or.jp)にお願い致します。支部会員以外の方の参加には、支部会員の紹介と同伴が条件となります。ご注意願います。参加申し込みは、原則として、山行実施日の前月初めから実施日の1週間前です。

あとがき

今年度前半は新型コロナの影響により、山岳誌プロジェクト山行も軒並み中止となった。山行報告も少なく支部報の発行が危ぶまれたが会員からの寄稿によって何とか発行に漕ぎつけることができ、ホッと胸をなでおろしている。これからも会員の皆さんからの積極的な寄稿を願っている。(は)

発行：日本山岳会神奈川支部 支部長：込田伸夫

編集者：田島剛、永井泰樹、長島泰博、葉上徹郎 (本支部報に関する問合せ先：kng@jac.or.jp)

令和2年10月1日